

第14次群馬県総合計画  
「はばたけ群馬プラン」  
重点プロジェクト  
(平成24年4月1日改定)

群 馬 県



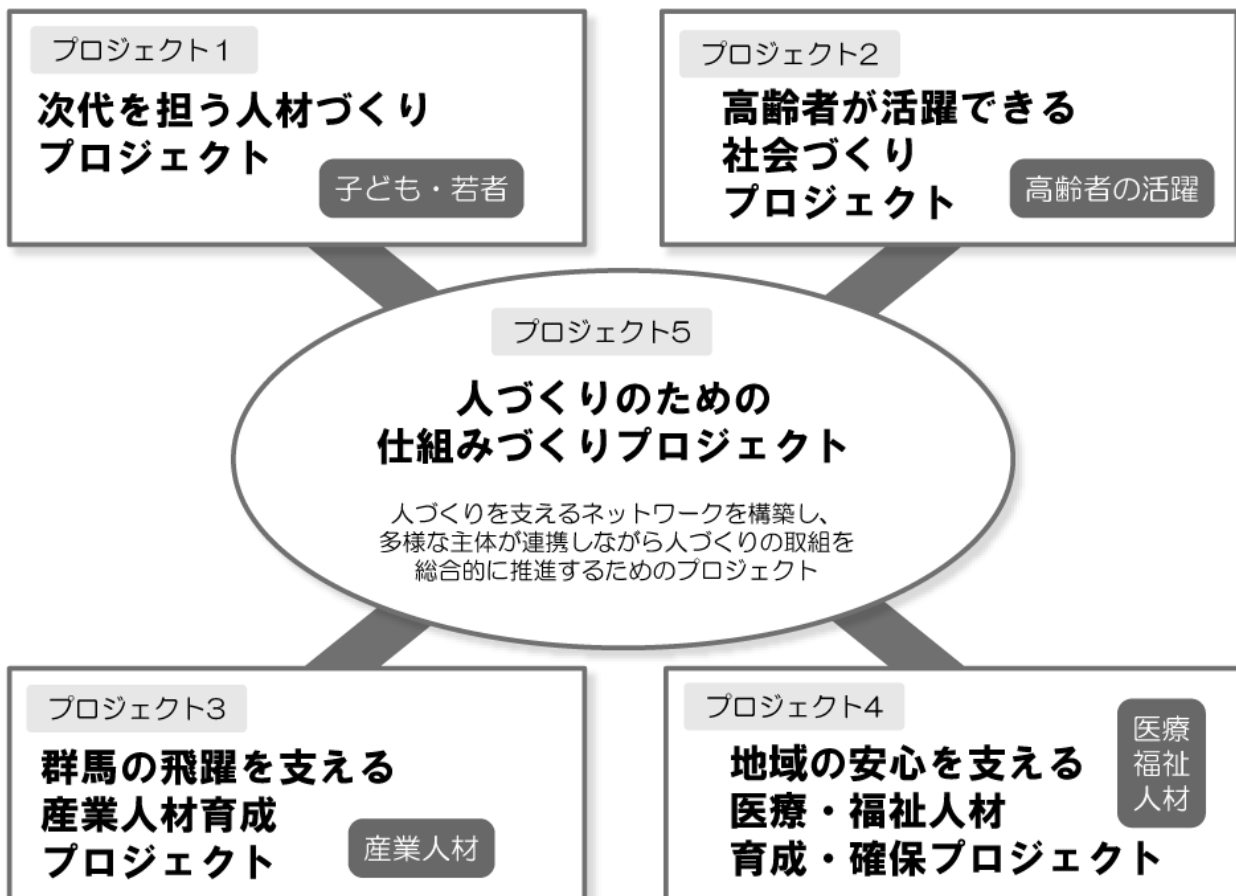
## 基本目標 I

# 地域を支え、 経済・社会活動を支える 人づくり

## 5つのプロジェクト

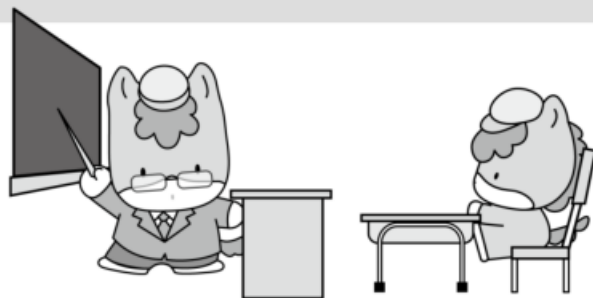
基本目標 I の実現に向けた施策展開の方向である「次代を担う人材の育成」、「高齢者が活躍できる社会づくり」、「産業人材の育成」、「地域の医療・福祉を支える人材の育成・確保」、「人づくりのための仕組みづくり」を推進するため、次の5つの重点プロジェクトを設定します。

### 5つの重点プロジェクト



プロジェクト1

# 次代を担う人材づくり プロジェクト



## プロジェクトのねらい

次代を担う子どもや若者には無限の可能性や夢があります。その力が未来を築き、将来の群馬県発展の原動力となります。激しい社会変化は当面続くことが予想されますが、どのように社会が変化しようと、一人ひとりが新しい未知への課題に対して自律的に対応し、他人と協力・協調しながら社会を支え、その生涯を切り拓いていく力を育成することが、これからの限らない可能性を大きくはばたかせていく上で重要です。

子どもたちの豊かな心とたくましく生きる力を育成するため、成長段階に応じた体験活動や勤労観・職業観を育てるキャリア教育・職業教育などを行うとともに、子どもを産み育てやすい環境づくりや大人へと自立していく子ども・若者の成長を社会全体で支援する取組を推進します。

## 主な取組

### 1 郷土への誇りと豊かな心の育成

本県の豊かな自然や優れた文化・芸術など本物に触れる体験や集団活動体験等をとおして、郷土に対する理解を深め、群馬のすばらしさを誇りに思い、愛着をはぐくみ、また、他人を思いやる豊かな心で社会に巣立っていくための取組を推進します。

(1) 群馬に誇りと愛着  
を持てる学びの推  
進

地域の特徴や資源を活用した学びの場として、上毛かるたの活用や尾瀬学校の拡充などを図り、郷土への愛着と誇りをはぐくみます。  
子どもたちが自分たちの住む地域の良いところや先人の働き等を学ぶ機会を増やします。

(2) 豊かな心を育てる  
徳育の推進

学校と家庭・地域との連携による道德教育の推進や本物に触れる体験学習の充実などにより豊かな感性を育成し、自らを律して、他人を思いやる豊かな心をはぐくみます。

## 2 たくましく生きる力の育成

家庭や社会（地域、企業、大学等）との連携を強化し、社会や職業、働くことを知る体験などにより勤労観・職業観を養い、社会人・職業人として、自立・共生・協働する力をはぐくみ社会への円滑な接続を推進します。

(1) 確かな学力の定着	少人数学級、少人数指導の実施などにより、子どもの発達段階に応じたきめ細かな指導を推進します。
(2) 健やかな体の育成	学校体育やスポーツ活動を振興し、健康な体をつくり、体力・運動能力の向上を図るとともに、集団の中でのコミュニケーション能力を育てます。 食を考える習慣を身につけ、心身ともに健全な食生活を送るため、学校の教育活動全体を通じて食育*を推進します。
(3) 家庭・地域の教育 力向上	幼児教育や子育て支援などを通じて、家庭の教育力を高めます。 学校と家庭・地域の連携を強化し、地域社会全体で子どもの社会性をはぐくみます。
(4) キャリア教育の推 進	生徒が学ぶことや働くことの意義や喜びを理解し、社会的・職業的自立に向けて必要な能力等を育てるキャリア教育を推進します。
(5) 職業教育の強化	地元企業や研究機関等から豊かな経験と知識を持つ人材を講師として招へいするなど地域・産業界と連携し、実践的な職業教育の実施と地域雇用とのマッチングを強化します。 専門高校等において、介護福祉士受験資格など就業につながる資格取得の推進や産業技術専門校などを活用したものづくり実習、農業実習などの実技研修を強化します。
(6) 社会への円滑な接 続の推進	大学等進学者の専門教育について、大学等と連携し円滑な学びの接続を推進します。 専門高校及び専修学校・各種学校等と地域産業界が連携して、地域産業界が必要とする人材の育成を推進します。
(7) 特別支援教育の充 実	市立特別支援学校を県立移管することや、特別支援学校の未設置地域への新しい配置を進めます。 特別支援学校を地域の特別支援教育の拠点として整備し、「地域の特別支援教育のセンターとしての役割」や「複数の障害への対応」など、特別支援学校の機能を充実させ、県内どこでも障害のある児童生徒が安心して学べる環境をつくれます。

## 3 文化・芸術とスポーツを通じた人づくり

本県の特徴ある文化や優れた芸術などに触れたり、体験したりする機会、スポーツを通じた人との交流の機会の充実を図ることで、子どもや若者の豊かな感性や創造性、人間性をはぐくみます。

(1) 文化・芸術を通じ た人づくり	小中学生や幼児を対象とする群馬交響楽団の移動音楽教室や県立美術館・博物館の企画展示など、本県の優れた文化・芸術に直接触れる機会を提供し、豊かな感性や創造性をはぐくみます。 伝統文化の継承活動や文化を通じた地域づくりを支援することで、これらの活動を体験できる機会の充実を図り、人と人とのつながりを大切に思う心をはぐくみます。
-----------------------	--

(2) スポーツを通じた人づくり	子どもが大人と一緒にスポーツに親しむことのできる機会の充実やプロを呼べる施設整備を図り、世代を超えた人との交流の中で、豊かな人間性をはぐくみます。
------------------	---

## 4 子ども・若者の強い心と自立心を持った成長の支援

子ども・若者が成長する過程で遭遇するさまざまな困難に対して、社会全体で助け合い、悩みを共有し状況に応じた支援を行い、社会生活を円滑に営むことができるように取り組みます。

(1) 体系的な相談体制の構築	子ども・若者が社会生活を円滑に営むことができるように、幅広い関係機関のネットワーク化を図り、総合的な相談体制を構築し支援します。
(2) いじめ・不登校対策の推進	スクールカウンセラー*などを学校に配置し、学校の教育相談体制の充実を図り、いじめや不登校の解消に向けた支援を推進します。 教育委員会や健康福祉部など、関係する部局全体での体制整備をするとともに、小中学校の設置者である市町村との連携を強化し、子どもへの総合的な「心のケアシステム」を構築します。
(3) 再チャレンジ支援の推進	群馬県若者就職支援センター（ジョブカフェぐんま）において、就職氷河期のため正社員になれなかった年長フリーター*等に対する就職支援を強化します。 未就職卒業生向け就職支援策を強化しフリーター化等の未然防止に努めます。 学校卒業後や離職後に、職に就けず悩んでいるニート*等の若者やその家族に対して、地域若者サポートステーションを中心に、職業的自立を図るための支援を行います。

## 5 総合的な少子化対策

社会全体で子育てを支援するとともに、夢と希望を持ち次代を担う子どもたちを安心して育てることができる環境づくりに取り組みます。

(1) 少子化対策の推進	ぐんまちょい得キッズパスポート（ぐーちょきパスポート）など、子育て家庭を社会で支援する体制づくりを推進します。 社会全体で結婚を応援し若者が家族を形成する仕組みづくりを推進します。
(2) 産みやすい環境整備	周産期医療対策や医師確保対策を行い産みやすい環境整備に努めます。
(3) 育てやすい環境整備	子ども医療費の無料化など子育てにかかる費用負担を軽減します。 小児救急医療対策を充実させ育てやすい環境整備に努めます。 休日・時間外保育などの保育サービスの充実・待機児童の解消など働きやすく育てやすい保育・幼児教育環境の整備を行い仕事と家庭の両立を支援します。 育児に対する悩み相談や子育て中の親子の交流・情報交換を支援します。 安心して出産し育児に専念できる環境、子育て・介護をしながら安心して働くことのできる職場環境の整備を促進するため、群馬県育児いきいき参加企業認定制度等により働きやすい環境づくりを企業に働きかけます。

「人が困っているときは、進んで助けている」と回答した児童生徒の割合



今住んでいる地域の歴史や自然について  
関心がある児童生徒の割合



新体力テストの測定結果（全国平均を上回る検査項目数の率）



いじめ解消率  
(指導の結果、解消した件数の割合)



スクールカウンセラー\*の設置



専門高校における長期インターンシップの実施学科の割合



ぐーちょきパスポート<sup>1)</sup>協賛店舗登録数



1)群馬県内の子育て世帯等に配布し、協賛店舗で提示すると、さまざまな割引やサービスが受けられる子育て家庭優待カード事業。

プロジェクト2

# 高齢者が活躍できる 社会づくり プロジェクト



## プロジェクトのねらい

我が国や本県をさまざまな面で支えてきた「団塊の世代\*」などをはじめとする高年齢層は、豊富な経験に裏打ちされた知識や技能を持っており、定年退職後もなお時代を牽引し続ける力を秘めた人材として活躍が期待されています。群馬を大きくはばたかせるためには、従来の「高齢者」のイメージを一新する世代の大きな力を活かしていくことが必要不可欠です。

そこで、高齢者がその大きな可能性や潜在力を発揮して、さまざまな分野において積極的に社会参加・社会貢献し、地域の「支え手」として活躍できるよう県全体で応援する社会づくりに取り組みます。また、就労意欲の高い高齢者が、その働く意欲や能力を発揮できるよう支援します。

## 主な取組

### 1 高齢者の活躍への導入支援

高齢者が社会で活躍するためのきっかけづくりや県民意識の醸成を図ります。

(1) 高齢者の活躍のきっかけづくり

高齢者に対する普及・啓発活動などを通じて、社会参加のためのきっかけづくりに努めます。  
NPO\*やボランティアなどの市民活動に関する相談に応じ、情報提供を行います。

(2) 高齢者が活躍できる社会づくりの普及啓発

高齢者が活躍できる社会づくりに関する県民意識の醸成を図ります。



## 2 高齢者の社会参加・社会貢献の促進

高齢者が地域の「支え手」として社会参加・社会貢献することを促進します。

(1) 高齢者の社会参加・社会貢献の支援	ボランティア活動などの実績を評価する仕組みとして「群馬はばたけ通帳（仮称）」制度の導入を検討するなど、高齢者の社会貢献を奨励し、意欲を持って活動に参加できるよう応援します。 シニア就業支援センターにおいて、地域活動などに関する相談、情報提供を行います。
(2) 社会参加の情報提供システムの構築	高齢者が自分に合った活動に参加するための情報を容易に手に入れることができるように、学習、スポーツ、ボランティアなどさまざまな団体等の活動情報を提供するシステムを構築します。

## 3 高齢者の働く意欲や能力の活用支援

働く意欲を持った高齢者がその能力を発揮して活躍できるよう、就労を支援します。また、農業分野への参入等を積極的に支援します。

(1) 高齢者の就労支援や技能の活用	シニア就業支援センターにおいて、高齢者の意欲と能力の発揮に向け、就労の支援をします。 高齢者に対して、シルバー人材センターにおいて地域に密着した仕事を提供することを促進します。 高い技術・技能を持つ熟練技能者から若い世代への技術伝承を支援します。
(2) 定年帰農者等の支援	定年帰農者等の多様な人材の就農を促進するため、就農相談や研修会を開催するとともに、農林大学校等での技術習得に向けた支援により、円滑な就農を図ります。
(3) 高齢農業者の活動支援	高齢農業者による、直売所、量販店内の直売スペース、学校給食等を活用した地産地消への取組を支援します。

## 4 高齢者の活躍を支える体制の整備

高齢者の活躍を社会全体で応援していくため、総合的な体制を整備し、高齢者のマンパワー\*の効果的な活用を推進します。

(1) 社会参加・社会貢献の総合的な推進	高齢者の就労支援、生涯学習支援、生活支援などの各分野の施策を体系化し、高齢者の社会参加・社会貢献を総合的に促進します。
(2) 多様な分野における高齢者の活躍の推進	家庭・学校・企業等における「人づくり」などの多様な分野において、高齢者のマンパワーの効果的な活用を推進します。

### 高齢者への情報提供システムのアクセス件数（年間）



### シニア就業支援センター<sup>1)</sup>利用者数



1) 中高年齢者の再就職や、定年退職後のさまざまな「働き方」についての相談・情報提供を行う総合相談窓口。

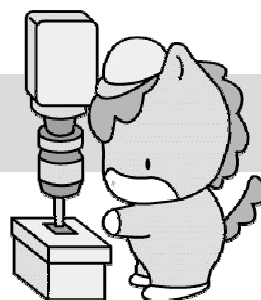
### 中高年齢者の新規就農者数（5年間の合計）



中高年齢者は40～65歳とする。

プロジェクト3

# 群馬の飛躍を支える 産業人材育成 プロジェクト



## プロジェクトのねらい

少子高齢化に伴い労働力人口の減少が見込まれる中、県内産業の競争力を維持・向上させていくには、優れた技術・技能や高い勤労意欲を持つ人材を育成し、労働生産性を向上させることが必要です。

本県は、製造業を中心とした産業構造を持ち、技術や技能に支えられた「ものづくり」や豊かな自然などによる農林業、観光資源などを有しています。産業の競争力を支える源泉は人材であり、優れた人材の育成が群馬の飛躍につながります。

経済のグローバル化が進む中で、本県の豊かな自然環境や歴史、文化、蓄積された高度な産業技術などを受け継ぎさらなる発展を目指した産業人材の育成を推進します。

## 主な取組

### 1 パートナーシップ形成による人材育成支援

産業界と教育機関の連携や異業種間交流、地域・グローバル交流など幅広いネットワーク等の中で、新たな取組や活力を生み出す人材育成を支援します。

(1) 産業界との連携による学校教育の実施

教育機関と産業界が連携し産業ニーズに沿った教育を進めます。  
企業での職業体験、職業人の講師派遣など実際の職業を通したキャリア教育を推進します。

(2) 新たな商品・サービスの企画・開発・販売に向けたパートナーづくり

農林漁業者と商業・工業者がそれぞれ得意とする分野の経営資源を持ち寄り新たな商品開発・付加価値向上を目指す農商工連携のパートナーシップ形成を支援します。  
企業が高等教育機関等の有する高度技術を活用して製品化・商品化などの共同開発を行う産学連携のパートナーシップ形成を支援します。

## 2 ものづくり人材の育成

本県の優れたものづくり技術をさらに発展させる取組を支援し、競争力を強化します。

(1) 新技術・研究開発などの技術向上支援	産業技術センター、繊維工業試験場において、高度・専門的な技術研修などを行い製品開発力等の強化を支援します。
(2) 商品企画・販売力強化などのマーケット力強化支援	優れた技術を活かした新製品開発や企画力・販売力等の向上を支援し、企業の独自展開や発展を支えます。
(3) ものづくり技術・技能の継承	<p>「群馬ものづくり改善インストラクタースクール」を開講し、産業技術・技能を引き継ぐ人材を養成するなど、中小製造現場の改善活動を支援します。</p> <p>卓越した技能のすばらしさ、大切さを教え技能者の育成を図ります。</p> <p>高校生を対象としたものづくり実習型講座などを通じ、ものづくり技術の向上を図るとともに、次世代のものづくりを担う子ども達にもものづくりの楽しさを伝え、本県に培われているものづくり精神や伝統の継承を図ります。</p> <p>産業界から求められる人材を育成するため、産業技術専門校などによる在職者訓練及び施設内訓練をはじめ、機動的な人材育成を行います。</p>

## 3 農業・林業を担う人づくり

本県の豊かな自然や環境のもとで生産される良質な農林畜産物などの魅力を伝え、意欲ある担い手の確保・育成と新たな付加価値を創出できる人材の育成に取り組みます。

(1) 農業に新たな付加価値を創出できる人材の育成	<p>商工業者と農業者、消費者と生産者、都市住民と地域住民などの多様な連携により農業に新たな付加価値や雇用を創出します。</p> <p>女性農業者の主体的な経営参画を促進するほか、農村女性起業者の経営管理能力向上やネットワーク化を支援し、経営改善・法人化等を進めます。</p>
(2) 多様な人材の就農・定着支援、担い手の経営基盤の確立	<p>技術習得支援や農家研修支援などの取組により、県内高校生や新規参入者、定年帰農者等の多様な人材の就農を促進します。</p> <p>経営の発展段階に応じたきめ細かな支援や、制度資金・補助事業等による経営基盤の確立支援により、着実な就農定着や担い手の経営発展を図ります。</p> <p>地域農業の核となる集落営農*などの組織経営体の育成や、経営の複合化・法人化などの経営体質強化へ向けた取組を支援します。</p> <p>地域との調和を基本に、企業の参入相談に迅速に対応する窓口体制の整備など、農業への参入を支援します。</p>
(3) 森林・林業を支える人材の確保・育成	豊富な森林資源を有効に活用するため、ぐんま林業学校や森林施業プランナー*研修などにより、林業を支える人材を育成します。

## 4 観光人材づくり

本県の魅力ある地域資源を観光商品へ磨き上げるなど、地域の観光振興をリードする人材の育成と、ネットワーク形成による商品開発やおもてなしの心の普及など、平成23年7～9月に開催される群馬デスティネーションキャンペーンを契機としてさらなる発展へ向けた取組を推進します。

(1) 地域観光をリードする人材の育成	産業界、自治体、地域、県民との連携を図り、群馬デスティネーションキャンペーンの実施を契機として地域における魅力の発掘、プランの企画、地域おこしなどをリードする人材の育成とネットワークの形成を支援します。 地域資源活用による商品開発など地域の特性や資源を活かした、特産品の開発や群馬県ならではの商品開発などさまざまな産業・地域・行政の連携を強化します。
(2) 観光客受入れ体制整備	群馬デスティネーションキャンペーンを契機として、観光施設で働く人やタクシードライバー、ボランティアガイドなど接客に携わる人たちをはじめとした県民の意識啓発や外国人への対応も含めたおもてなしの体制づくりに取り組みます。

## 5 グローバル人材づくり

今後策定予定の国際戦略のもと、国際的な視野のもとで地域の魅力やすばらしさを認識できる人材育成の取組を推進するとともに、戦略的なネットワーク構築を推進します。

(1) グローバル人材の育成	県立女子大学における国際化教育の推進や社会人を対象としたぐんまグローバル塾の開催などにより、経済・文化など幅広い分野において、国際的な視点で活躍し、地域への貢献が期待できるグローバル人材の育成を支援します。 グローバルな市場で競争できる技術力を持ったものづくり人材と、自ら海外市場を開拓できる人材の育成を目指します。
(2) ネットワーク構築による支援	海外進出企業や海外県人会など海外とのネットワークを構築し、海外進出企業等の協力を得ながら海外展開等を支援します。

### 専門高校における長期インターンシップの実施学科の割合



### 39歳以下の新規就農者数(5年間の合計)



### 新規林業就業者数



### 観光ボランティアガイド数



プロジェクト4

# 地域の安心を支える 医療・福祉人材 育成・確保プロジェクト



## プロジェクトのねらい

医師や看護師などの医療人材や介護福祉士などの福祉人材は、「人と人とのふれあい」を基本として、他者の生命や幸福に直接関わって貢献する重要でやりがいのある仕事を担う専門家です。近年、さまざまな要因により、これらの人材の不足や偏在が深刻化しており、地域の医療・福祉の現場への負担増や医療・介護サービスの提供体制の維持が課題となっています。

そこで、地域の医療・福祉を支える人材の育成・確保に取り組み、また、現場で働きやすい環境を整備するとともに、多様化・高度化するニーズに対応するための専門的な技術・知識の習得やキャリアアップを支援します。また、医療・福祉の仕事の意義や魅力、重要性が広く県民に理解され、医療・福祉人材がさらなる意欲と誇りを持って働けるような社会づくりに取り組みます。

## 主な取組

### 1 医療人材の育成・確保

県民の生命や健康を守る医師や看護師などの医療従事者の育成を推進し、人材の県内での就業を促進するとともに、現場で働きやすい環境づくりに取り組み、医療人材の確保と定着を図ります。

<p>(1) 医療従事者の育成・確保</p>	<p>医学生や研修医等への支援などにより、本県地域医療を担う医師の養成を推進するとともに、医師不足が特に深刻な小児科や産婦人科等の医師確保に取り組みます。</p> <p>看護学生への支援などにより、本県地域医療を担う看護師の養成を推進します。</p> <p>大学・短大・専門学校等における医療人材の養成を推進します。</p> <p>県立病院において、研修医の受入のほか、認定看護師や専門看護師の育成、学会への参加促進など、人材育成機能を強化します。</p>
<p>(2) 医療従事者の招へいと県内就業支援</p>	<p>医師不足地域の医療提供体制を確保するため、県外からの医師の招へいに努めます。</p> <p>ドクターバンク事業などにより、医師の県内医療機関への就業を支援します。</p>
<p>(3) 女性医師や看護師等の働きやすい環境づくり</p>	<p>病院内保育所への助成や女性医師や看護師等が働きやすい就労環境づくりを推進し、県内病院等への再就業や定着を促進します。</p>

## 2 福祉・介護人材の育成・確保

介護を必要とする人の生活や福祉を支える介護福祉士などの福祉・介護従事者の育成や新たな人材の参入を推進するとともに、福祉・介護人材が意欲を持って働ける環境づくりに取り組み、人材の確保と定着を図ります。

(1) 福祉・介護従事者の育成・確保	福祉マンパワーセンターの運営や就職相談会の開催など、福祉・介護の仕事に関心を持つ人への支援を通じて、福祉人材の確保を促進します。 福祉・介護の仕事に従事する人への支援や処遇改善を図り、福祉人材の定着を促進します。 専門高校等における介護福祉士等の養成を推進します。
(2) 介護人材のキャリアアップ支援	「ぐんま認定介護福祉士」の養成や制度の拡充を通じて、介護職員が意欲を持って仕事を続けていけるよう、介護職員のキャリアアップを支援します。

## 3 医療・福祉の仕事 P R

医療・福祉の仕事の意義や魅力、重要性等を広く P R し、県民の理解を促進します。

(1) 医療分野に関する普及・啓発	医療先進県としての本県の先進的な取組について、ホームページ等を活用し、県内外への周知に努めます。 医療の仕事や地域医療の現状への理解を促進するとともに、医療の適正受診を啓発します。
(2) 福祉分野に関する普及・啓発	高齢化社会によるニーズの増大から、今後ますます重要性が増していく介護の仕事について、その意義や必要性、やりがいなどを広く周知し、介護の仕事の魅力を P R します。 小・中・高校生を対象として、介護の仕事の魅力の伝達と啓発に取り組みます。



### 人口10万人当たりの医療施設従事医師数

現状  
200.1人  
(H20年末)



目標  
212.9人  
(H26年末)

目標は現状数値の全国平均値

### 看護職員数 (保健師、助産師、看護師、准看護師)

現状  
21666.5人  
(H22年末)



目標  
24542.1人  
(H27年末)

常勤換算人数

### ぐんま認定介護福祉士認定数

現状  
61人  
(H21年度)



目標  
500人  
(H27年度)

プロジェクト5

# 人づくりのための 仕組みづくり プロジェクト

## プロジェクトのねらい

人づくりは、さまざまな人々との関わりを通じて時間をかけて進められていくものであり、一朝一夕に成し遂げられるものではありません。これまでに述べた、次代を担う人材づくり、高齢者が活躍できる社会づくり、産業人材や医療・福祉人材の育成・確保を効果的に推進していくためには、家庭、学校、地域、企業、NPO\*など人づくりに関わる多様な主体が共通の認識や目標を持ち、しっかりと手を携えて取り組んでいくことが極めて重要です。

このため、本県においてどのような人材を育成するかという方向性を定め、多様な主体がつながりを持って戦略的な人づくりを行うことができるよう、連携・協力するためのネットワークを構築し、人づくりのための総合的な仕組みをつくります。また、県民みんなで人づくりを行うという意識を醸成し、県民ぐるみの人づくりを推進します。

## 主な取組

### 1 群馬県人づくり戦略の策定・推進

人づくりに関係する各主体の連携を強化し、総合的に人づくりを推進するための仕組みとして、平成23年度を目途に「群馬県人づくり戦略」を策定し、これに基づく効果的な施策を展開していきます。

県民ぐるみの人づくりを行うため、群馬県人づくり戦略を策定します。(平成23年度策定済み)

### 2 人づくりを行う多様な主体のネットワークの構築

家庭、学校、地域、企業、NPOなど人づくりを行う多様な主体の連携・協力体制の強化を図り、県民ぐるみの人づくりを推進します。

家庭、学校、地域、企業、NPOなど人づくりを行う多様な主体の連携・協力体制の強化を図るため、群馬県人づくりネットワーク(仮称)を構築します。

高校卒業者の就職率向上を目指し、教育界と産業界の連携を強化するなど、ネットワークを活用した人づくりを推進します。

県民ぐるみで人づくりを行う意識の醸成を図ります。

### 3 多様な担い手の支援・育成

人づくりや地域課題の解決などに取り組む多様な主体の活動を支援するとともに、これらの担い手を育成します。

地域課題の解決に向けて取り組むNPOやボランティアなどの市民活動に関する相談や情報提供を行うとともに、多くの県民がNPOやボランティア活動に参加しやすい環境を整備します。

「NPOと行政との協働に関する指針」に基づき、地域課題の解決に向けてNPOとの協働を推進します。

#### 目標・指標

#### 群馬県人づくりネットワーク（仮称）の構成団体数

